

令和元年度文部科学省委託事業「がん教育総合支援事業」報告書

学校等名 平戸市小学校教育研究会保健部会

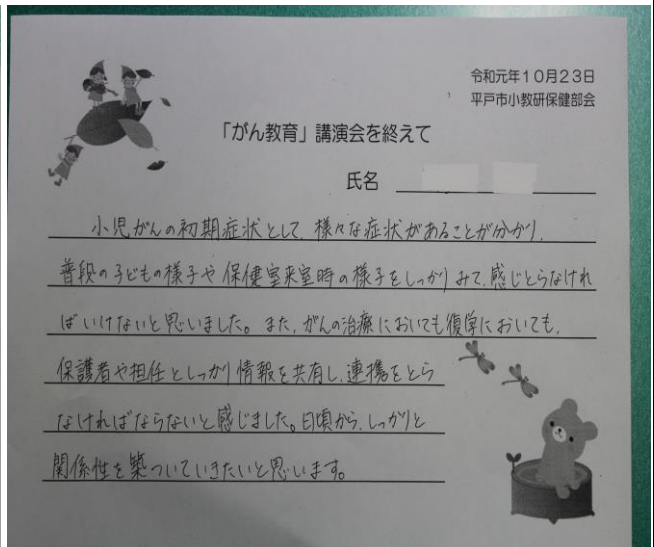
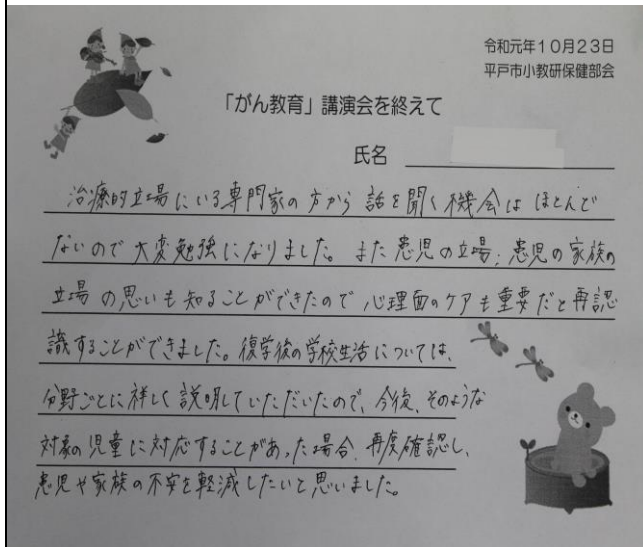
担当者名 永田 健治

電話 0950-25-2002

F A X 0950-25-2006

実施日	令和元年10月23日(水) 13:30 ~ 16:30				
場 所	平戸市未来創造館 研修室				
講座名	講演会「がん教育」				
講 師	吉田 俊昭 氏 (長崎労災病院)				
近隣校への案内	案内先:平戸市内小・中学校 計 24校				
参加者	児童・生徒 学年 ( )人	学校職員 ( 17 )人	保護者 ( )人	他校職員等 ( )人	その他 ( )人
テーマと内容	テーマ「がん教育の充実にむけて」 ・小児がんの要因と治療 ・復学における留意点 ・復学後の学校生活における対応				

<当日の様子> \* 事業の様子等を必ず画像で添付してください。



- ・資料とパワーポイントにより、「がん教育」について詳しく指導していただいた。
- ・公演後には、質疑応答の時間を設けることができ、充実した研修となった。

<講師からの指導や助言・成果>

- ・小児がんの原因はわかっていないことが大部分であり、生活習慣ではなく、遺伝子的要因が主な原因の一つと考えられている。
- ・復学にむけては、子どもや保護者、主治医、学校等、相互に連携し、よりよい状態で学校生活に戻れるよう事前に確認しておく必要がある。
- ・復学後、学校において子どもがけがをしたとき、病状によりサポートが必要となる場合がある。その具体的なサポート内容について、保護者や主治医等と話し合い確認しておく。

<今後の取組及び課題>

- ・今回の講演を終え、がんについての基礎知識を深めることができた。今後、子どもたちに対するがんそのものの理解やがん患者に対する正しい認識ができるよう「がん教育」を推進していく必要がある。教育活動全体における位置付けを明確にし、授業レベルでどのように実践をしていくのかを研究していくことが重要である。